

9月定例議会!総額159億6千2百万円の補正予算、23議案が可決! 10年先の未来の広島を見据え、地方創生・行財政対策特別委員会へ!

9月議会主なトピックス

- ○県有地信託事業(エストパルク・広島クリスタルプラザ)を売却。
 - ※事業債務残高(約73億円)-売却見込み額(40億円程度)=税補填(約30数億円)
- ○人材不足等の理由により、「災害復旧復興プラン」の目標設定の一部見直し。
- ○公立高校の入学者選抜制度(素案)の提示。
- ○高校入学時に必要な経費の貸付可能に。
- ○12月18日 広島~バンコク線が就航!
- ○紙屋町周辺地区活性化推進特別委員会を設置
- ○議会改革推進!各委員会もインターネット中継にて視聴可能に





売却が決定した 広島クリスタルプラザ

あいさつ

9月定例議会が、9月18日~10月2日までの15日間の会期で開催されました。

本議会では引き続き豪雨災害の早期復旧・復興を目指すとともに、一人ひとりに寄り添った心のケア、 自主防災組織の機能強化、経済的に困難な生徒に入学に必要な経費の一部を貸し付ける奨学金制 度が新設されました。

一方で、広島高速 5 号線の工事費増額分が未だに協議中であること、県有地信託事業の債務負担 等について議論されました。

土地信託事業は、当初は土地の有効利用と事業の配当金を受け取れる構想を描いていましたが、 工事費の増額、バブル崩壊等により、安定した配当金が受け取れず債務残高が残っていました。 バブル期に決議された事業でありますが、行政が信託事業をするにはリスクもあり、議会で慎重に 議論することの重要性を改めて痛感しました。



〔議会内容を街頭演説〕



議会ではこんなことが質問されました。

ローマ法王の訪問を機に被爆地として核兵器廃絶、恒久平和の訴えについて

A: 若者の声を集めてローマ 法王を歓迎する。加えて「世 界平和に向けた強い意志の 表れで、県としても核兵器の ない平和な世界の実現に向 けた取り組みに繋げていく。」



高齢運転者の認知機能検査の 支援拡大について

A: 竹原警察署大崎上島分庁 舎と尾道警察署因島分庁舎 で実施したが、実施回数を増 やした。好意的な意見もある ことから実施状況を踏まえて 順次拡大を検討している。



芸備線全線復旧後の沿線の賑わい支援について

A: JR 西日本が観光向けに「庄原ライナー」を運行される。その他式典の催しや周遊バス等の運行により沿線活性化を図っていく。





県内の教育現場での必要な 教員の確保の状況について

A:年度初は、必要な教員を確保できたが、出産・育児・病気等による辞職で、未配置箇所も発生しているが、校内で対応しており授ができない等の影響は増やすない。教員の採用人数を増やす等、必要な教員数を確保していく。



その他、県土強靭化、種子法、医者不足、 災害備蓄品などが発言されました。

柿本忠則プロフィール(尾道生まれ)

2000年 私立如水館高等学校卒業

2000 年 JR 西日本(株)入社 駅務、車掌、新幹線運転士

などを経験後、総務、人事部門で勤務

2019 年 広島県議会議員(東区)初当選

19 年 仏島県議会議員(果区)初当選建設委員会・地方創生・行財政対策特別委員会

TO THE PARTY OF TH



広島県議会議員かきもと忠則事務所

〒732-0033 広島市東区温品 5-2-18 電話 / FAX : 082-554-8323





かむしゃらに活動や1年生議員として

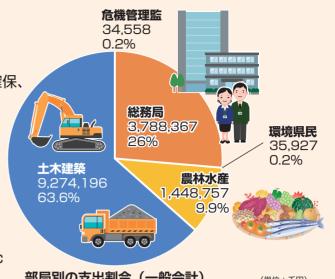
KAKKI GAMUSHARA TSUSHIN

【主な事業内容】

●7月豪雨災害対応 107億3千300万円余

・河川内の堆積土の除去、防災、減災対策、建設技術者等の確保、 国から追加措置された予算整理など

- 自主防災組織体制強化 900万円
- 防災情報メールの機能強化 2千600万円
- 高等学校などにおける入学準備金の貸付 1億800万円
- 広島~バンコク路線(LCC)の誘致 2千600万円
- ●下水道施設防災機能強化 12億7千100万円余 etc



部局別の支出割合(一般会計)

(単位:千円)

委員会での活動



- □ 市町が自主防災と設置を検討している河川の沿線カメラがより効果的な見え方 となるよう水位、氾濫危険水位などが設置できるようなルール整備をされたい。
- 🛕 市町と連携を図り、設置基準等を整理し前向きに検討していきたい。
- 🕠 大谷川 (馬木地区) の河川復旧工事計画が未だに示されて おらず、住民の方が不安を抱いている。早期復旧に努められ たい。
- 仮復旧工事は完了しているが、一部河川の復旧計画が示せ ていないことを大変申し訳なく思っている。今年中には計 画が示せるように市と協議を重ねていく。



仮復旧の大谷川

地方創生·行財政対策特別委員会

9月27日、第1回目の委員会が開催されました。 本会議では、「ひろしま未来チャレンジビジョント の振り返りを行い、現行ビジョンに続く向こう10 年の方向性を示す、次期広島総合計画の策定に 向けて取り組む委員会です。

幅広い視野をもてるよう勉強してまいります。



知事への要望

8月19日、民主県政会は湯崎県知 事に対して、災害復旧、地域要望、課 題、公共事業の進め方など21項目を 提出しました。



【見直されます】公立高等学校入学者選抜制度!

私自身も、高校・中学・小学生を育てる保護者として、この度 の制度改正は非常に関心の高い内容です。

変更の趣旨は、生徒自身が自己PR書を作成することにより、 自身が何を学びたいかを知る機会とし主体的な学校選択を-層促進するとともに、「広島県の15歳の生徒にどのような力 を付けさせたいか」という観点から改善を行われます。

-方で、制度変更に伴い不安を抱かれている保護者もおら れることから、現場に混乱が生じないよう丁寧に進めていくこ とが求められます。

県は、改善(素案)に対してパブリックコメントを募集し、本年 度中を目処に制度を策定し、公表するとしています。







若年層に政治をより身近に!

8.9月と2ヶ月間、安田女子大学の学生2名をインターン生と して受け入れました。

あっという間に過ぎた2ヶ月間でしたが、議会傍聴、街頭活動・

県政報告のお手伝い、平和行動、地域 活動、支援団体への挨拶まわりなど多 岐に渡り体験していただきました。

また、湯崎県知事にもご協力いただ きインターン生徒との意見交換会を開 催することができました。



皆さまの声を県政に!地域のお困りごとなど、お気軽にご相談下さい

